



～組合員の皆さまとJAふじ伊豆 伊豆の国地区をつなぐ地区版広報誌～

ふじ伊豆

伊豆の国  
地区版広報誌

# Fuji Izu PLUS

2025  
2  
vol.17

2025年2月1日発行

指導農家の佐々木さん(左)に栽培技術を教わる  
研修生の山田梨花さん(中)と宮野裕之さん(右)



## イチゴ

静岡県の令和6年度「がんばる新農業人支援事業」の研修生として現在4人がイチゴの指導農家・佐々木毅さん、安原浩司さん、梅原広隆さんのもとで研修を行っています。

事前研修を経て、本研修が令和7年1月からスタート。研修生は1年間、指導農家から栽培技術や農業経営を実践的に学び、独立就農を目指します。



# 新規就農研修スタート！ 次世代の農業の担い手育成

伊豆の国地区ではJAと指導農家、行政が連携し、新規就農の受入・育成を行い、農業にチャレンジする次世代の担い手をサポートしています。

## ミニトマト

令和6年10月から2人の研修生が久保田尚徳さん、高橋純哉さんのもとで研修に励んでいます。

1月放送のJA自主制作番組「ごちそうカントリー」では久保田さん夫妻と研修生の原田大輔さん、葦山営農経済センターの西島悠祐職員が出演。新規就農支援の取り組みや「伊豆の国ミニトマト」を使ったレシピなどを紹介しました。

「ごちそうカントリー」  
見逃し配信はこちらから



ごちそうカントリーで就農を目指したきっかけを  
アナウンサーに語る研修生の原田さん(右)



指導農家の久保田さん夫妻(中央・右)と  
営農アドバイザーの西島職員(左)が番組でミニトマトをPR



## シイタケ

(伊豆市地域おこし協力隊)

伊豆市は12月3日、地域おこし協力隊員を大阪府出身の大西輝明さんに委嘱しました。シイタケ農家の堀江富男さんのもとで原木シイタケ栽培の生産技術を学ぶとともにシイタケの魅力を発信します。

JAではシイタケの新規就農者確保に向け、若手のシイタケ生産者と協力し、PR動画の作成を11月から開始。原木シイタケの仕事内容をわかりやすく伝える動画の完成を目指しています。



新規就農募集に向けて動画作成



シイタケの研修を受ける大西さん(中)

# 伊豆の国地区 Information

## 無料の年金・税務相談会 スケジュール



JAでは無料の相談会を開催しています。年金・税務に関する皆さまの疑問やお悩みを専門家がお応えします。どなたでも無料でご相談いただけます。

### 年金相談会

日時	場所	電話番号
2月12日(水) 13:00～19:00	江間支店	055-948-6060

### 税務相談会

日時	場所	電話番号
2月13日(木) 13:00～17:00	田中支店	0558-76-1388
3月11日(火) 13:00～17:00	修善寺支店	0558-72-0134

\*お一人さま60分を目安とし、ご予約の方を優先します  
\*お申し込みは最寄りの支店(伊豆の国地区)にご連絡ください

## 農作業の パート・アルバイト募集



農作業の仕事をお探しの方に、JAが働き手を募集している農家の方を無料でご紹介いたします。お気軽にお問い合わせください。

内容	ミニトマトやイチゴなどの収穫やバック詰め作業
職種	パート・アルバイト
賃金	時給1,034円～

お申し込み・お問い合わせ先

伊豆の国地区本部 地区組織課 TEL. 055-949-7113

## 農作業の仕事ってどんなことしてるの？

当JA公式YouTubeでミニトマトの仕事内容を動画でご視聴いただけます！



動画で  
まるわかり！

## 移動金融店舗 巡回スケジュール変更のお知らせ



移動金融店舗の巡回スケジュールが下記の通り変更となります。組合員・利用者の皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

変更前	令和7年3月31日まで	
	午前 (9:00～10:30) ※火曜日は9:30～10:30	午後 (13:15～14:45)
月	旧原保支店 (毎週)	奈古谷支店跡地 (毎週)
火	旧八木沢支店 (第1・3・5週) 小下田売店跡地 (第2・4週)	旧浮橋支店 (毎週)
水	旧熊坂支店 (メモリアルセンター本社敷地内) (毎週)	本立野支店跡地 (毎週)
木		
金	旧湯ヶ島支店 (毎週)	原木支店跡地 (第1・3・5週) 守山東観光駐車場 (第2・4週)

※ 祝祭日は運休

変更後	令和7年4月1日から	
	午前 (9:00～10:30) ※火曜日は9:30～10:30	午後 (13:15～14:45)
月	旧原保支店 (第1・3・5週)	
火	旧八木沢支店 (第1・3・5週) 小下田売店跡地 (第2・4週)	旧浮橋支店 (毎週)
水	旧熊坂支店 (メモリアルセンター本社敷地内) (毎週)	奈古谷支店跡地 (第1・3・5週) 本立野支店跡地 (第2・4週)
木		
金	旧湯ヶ島支店 (毎週)	原木支店跡地 (第1・3・5週) 守山東観光駐車場 (第2・4週)

※ 祝祭日は運休



JAまつり  
農産物品評会の農産物  
子ども食堂へ  
寄贈



11月24日と12月1日の伊豆の国地区JAまつり2024の開催に合わせ、農産物品評会を開催しました。生産者が丹精込めて育てた農産物が計65品出品され、上位入賞者の皆さまにはJAまつりの会場で表彰を行いました。



浅井一郎伊豆の国地区本部長が河野会長に農産物を贈呈



伊豆の国地区JAまつり2024  
農産物品評会 特賞受賞者(敬称略)

修善寺会場

飯田 健次、梅原 敏男、三須 清和、  
(シイタケ) (栗) (キウイフルーツ)  
伊東 謙三、小川 由美子  
(シイタケ) (サトイモ)

菰山会場

小野 孝浩、長島 敏男、土屋 愛子、  
(シイタケ) (サトイモ) (サツマイモ)  
下田 寛之、水口 薫  
(サトイモ) (柿)



たくさんのご来場ありがとうございました！

伊豆の国地区  
JAまつり  
2024

菰山会場  
修善寺会場

収穫に感謝するとともに、地場農畜産物を広くPRするため、伊豆の国地区JAまつり2024を開催しました。

今年は11月24日に修善寺会場、12月1日に菰山会場で開催。5年ぶりに2会場での開催となり、当JA管内の特産物を活用したさまざまな企画や農産物品評会、地元野菜を使用したキッチンカー、農産物が当たる三角くじ、餅まきなどを行い、会場は大盛況となりました。



ワサビのつかみ取り



女性部によるシイタケピザ



ミニトマトのパック詰め



ミカン1キロ当て



ステージイベント

食農教育活動

高壮年部

農業体験を通じて地域の子どもたちに「食」を生み出す農業・地域・自然の役割を伝えています。

12/3

修善寺南小学校3年生  
ワサビ収穫体験

南支部では伊豆市筏場のワサビ田に修善寺南小児童3年生を招いて収穫体験を開催。児童は自分の手で抜き取ったワサビを手に「お刺身につけて食べたい」と笑顔を見せていました。



ワサビ田で収穫を楽しむ児童たち

11/1

菰山地区の幼稚園・保育園児  
稲刈り体験



稲を手に笑顔の園児

北支部の部員が富士美・共和幼稚園、菰山・ちとせ保育園と稲刈りを実施。園児たちは部員にコツを教わりながら根元から稲を掴んで、上手に刈り取りました。

園児に刈り方を教える部員



10/22

土肥こども園  
サツマイモ収穫体験

土肥地区の部員が土肥こども園のサツマイモ収穫作業に参加。園児たちは大きなサツマイモを見つけて歓声を上げていました。

部員と一緒に芋を掘る園児



最高位の名誉賞を受賞した高橋さん

高橋さんは「飼料高騰で経営が厳しい中、受賞は当たり前のことではない。JAをはじめ関係各所に感謝したい」と話しました。梶組組合長は「JAとしてできる限りの支援、協力をしていきたい」と激励しました。

第98回静岡県畜産共進会 乳牛の部  
高橋さん・渡邊さんが受賞報告

日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科フードツーリズム論研究室の学生ら19人が11月29日、修善寺宮農経済センターを訪れ、ワサビの集荷作業を見学しました。ワサビのトップ営業指導員の日吉新職員が当JA管内のワサビ栽培の特徴や出荷の流れなどを説明。その後、実際にワサビを確認しました。参加した学生は「品種によってワサビの色や形が想像以上に違って驚いた。貴重な機会になった」と話しました。



受賞を報告する高橋さん(右)と渡邊さん(右から二人目)



ワサビの荷姿を確認する学生たち

